

1 和文書体についての専門知識

次の1～10の各書体名を下のA～Jから選び、その記号を右の解答欄に記入してください。

1. 金魚すくい J. 丸ゴシック体 6. 紅白歌合戦 C. 勘亭流
 2. ラジオ体操 B. 楷書体 7. 満開の桜 F. 行書体
 3. 麦わら帽子 A. 明朝体 8. 書き初め E. 草書体
 4. 蚊取り線香 D. ゴシック体 9. 中秋の名月 G. 宋朝体
 5. 箱根駅伝 H. 新聞明朝体 10. お月見団子 I. 隷書体

A. 明朝体 B. 楷書体 C. 勘亭流 D. ゴシック体 E. 草書体 F. 行書体 G. 宋朝体
 H. 新聞明朝体 I. 隷書体 J. 丸ゴシック体

3 専門用語の理解

次の1～10の文章の□にあてはまる最も適切な語句を下のA～Zから選び、その記号を右の解答欄に記入してください。

1. 注や参照などの合い印として用いられることが多い記号*を□という。 Y. アスタリスク
 2. JIS第1水準に定められている文字の数は□文字である。 M. 2,965
 3. 読者が情報を検索するために必要な、書籍における索引や見出しのことを□とよぶ。 A. インデックス
 4. 見本のイメージに近づけるため、シアンとイエローのインキを塗り重ねて、□により色を表現した。 J. かけあわせ
 5. シンボルマークとして使用するため、団体の頭文字を組み合わせて□を作成した。 O. モノグラム
 6. 現在の「ひらがな」とは異なる字体のかなを□という。 B. 変体かな
 7. 本を買ったところ、一部のページが抜けていたため、□を理由に交換してもらった。 G. 落丁
 8. 広告物の完成イメージを伝えるために、プレゼンテーションで□を用意した。 F. カンプ
 9. ベタ組とは、□を文字サイズと同じにして組むことである。 P. 字送り
 10. 欧文の□を選択したため、合わせて和文書体の字幅も広くした。 U. エキスパン

A. インデックス B. 変体かな C. 簡体字 D. 乱丁 E. サムネイル F. カンプ G. 落丁
 H. 30 I. コンデンス J. かけあわせ K. 特色 L. ピクトグラム M. 2,965 N. 3,390
 O. モノグラム P. 字送り Q. 行間 R. 仮想ボディ S. ふところ T. 字間 U. エキスパン
 V. 字面 W. アンバサンド X. アンチック Y. アスタリスク Z. アポストロフィ

2 欧文書体についての専門知識

次のA～Jの各書体名を、下の1～10から選び、その記号を右の解答欄に記入してください。

- A. Hero 10. ボドニー
 B. Hero 2. クラレンドン
 C. Hero 8. ピステリー・ローマン
 D. Hero 1. ブロードウェイ
 E. Hero 6. オプティマ
 F. Hero 9. ヘルベチカ
 G. Hero 7. ユニバース
 H. Hero 4. フルティガー
 I. Hero 5. キャスロン
 J. Hero 3. プラシスクリプト

1. ブロードウェイ 2. クラレンドン
 3. プラシスクリプト 4. フルティガー
 5. キャスロン 6. オプティマ
 7. ユニバース 8. ピステリー・ローマン
 9. ヘルベチカ 10. ボドニー

解答欄

1	J
2	B
3	A
4	D
5	H
6	C
7	F
8	E
9	G
10	I

A	10
B	2
C	8
D	1
E	6
F	9
G	7
H	4
I	5
J	3

1	Y
2	M
3	A
4	J
5	O
6	B
7	G
8	F
9	P
10	U



アドバイス

1. 和文書体についての専門知識
 和文書体の知識です。ここでは
 主な書体のカテゴリーですが、明
 朝体一つをとっても特徴を持った
 書体がたくさんあります。自分の
 好きな書体は書体名を調べて、
 覚えていきましょう。

2. 欧文書体についての専門知識
 欧文のスタンダードな書体の形
 を識別しなければなりません。出
 題されている書体は、すべて書体
 サンプル集(最新版)に記載され
 ています。よく見比べて特徴を覚
 えてください。
 ヘルベチカ、ユニバースは似てい
 ますが2級なのでその違いを見分
 けてください。

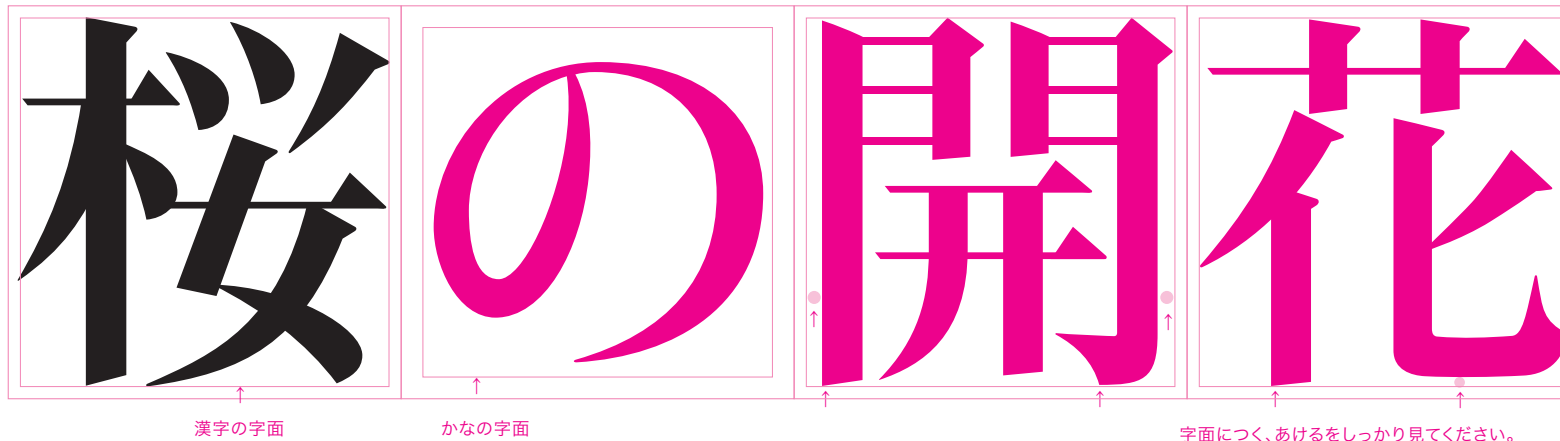
3. 専門用語の理解
 2級では書体サンプル集の用語
 解説以外のデザイン関連のことも
 出題されますから、日頃から文字
 やデザイン、印刷、広告、色など
 に興味を持って接することが大切
 です。

4 和文指定書体表現

「桜の開花」の4文字を、見本の「桜」に合わせて、欠けている文字を書いて完成させてください。

- 書く文字は、「桜」の次に「の開花」の3文字。
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 書体・大きさ・ウエイト・エレメントなどは、「桜」に合わせること。
- 塗り残しのないように、はっきりと仕上げること。
- 「桜」を含む左右寸法は、おおよそ260mm以内に収めること。
- 用具・用材の使用は自由。
- 横書きのこと。カギカッコは不要。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。
- 修整は自由。

ベタ組みでよいと思います。



4.和文指定書体表現

中太のシャープな明朝体です。初めに基準になる天地ライン(字面)と文字割りのラインを描いてから始めます。仮想ボディも書いてみるとベタ組みにできます。明朝体でも様々な特徴を持っています。見本の「桜」のシャープさをよく観察してください。

文字バランスはオーソドックスですが横線とたて線の太さ、横線の入り方、うるこの形、はらいの先端はどうでしょう。たて線、点、はらい、それぞれのエレメントをどれだけ観察、再現できるかです。かなの「の」についてはヒントがありませんが、ウエイトをあわせて書いて下さい。

スペーシングは、漢字と漢字はベタ組み、かなを少しツメるぐらいでよいですが「の」は左右幅があるので今回はベタ組みでよいでしょう。

5 欧文指定書体表現

「Summer」の文字を、見本の「Su」に合わせて、ヘルベチカ・ボールドで書いてください。

- 書く文字は、「Su」に続けて「mmer」の4文字。
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- カギカッコは不要。
- 塗り残しのないように、はっきりと仕上げること。
- 用具・用材の使用は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。
- 修整は自由。

C.L、M.L、B.L、D.Lのラインを設定してから始めます。このスペルはそれほどスペーシングは難しくありません。同じ文字はトレーシングペーパーを使いましょう。



5. 欧文指定書体表現

書体はヘルベチカ・ボールドです。スペーシングは「Su」にあわせていきますが、今回はスペーシングはそれほど難しくありません。直書き(じかがき)でのスペーシングはとても大変なので、一度ほかの用紙にキャップライン、ミーンライン、ベースライン、ディセンダーラインを引き、それぞれの文字のエクソハイトに対しての字幅の比率をデバイダで割り出して描き、切り貼りしてスペーシングしてから、またはスペーシングしながらトレーシングペーパーに写し取って、答案用紙に写して仕上げる方法がおすすめです。文字は軽く、(直書きのときは、墨入れに支障がない程度に)斜線などで均一に塗りつぶすことで太さやスペーシングが見えてきます。天、地がラウンドしている部分は同じ高さに見えるようにキャップライン、ミーンライン、ベースラインから少し出してオーバーシュートさせ錯視調整します。

6 書体造形および構成

「ラフティング」の6文字を、見本の「ラ」に合わせて、欠けている5文字を書いて完成させてください。

- 書く文字は、「ラ」の次に「フティング」の5文字。
- 骨格・大きさ・エレメントなどの書体の特徴は「ラ」に合わせること。
- 「ラ」を含む左右寸法は、おおよそ210～230mmに収めること。
- 横書きのこと。カギカッコは不要。
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 塗り残しのないように、はっきりと仕上げること。
- 用具、用材の使用は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。
- 修整は自由。

水平垂直と小さめの円弧だけで幾何的な骨格で、12°の斜体で作られています。
拗音「ィ」はウエイトを少し細くします。「ラ」のヒントだけでデザインするとうなります。
「ン」ははらいの先を太くした逆の太さですが、むりなく読めます。
スペーシングに気をつけましょう

ラインをそろえて
みる工夫。



「ク」の1画目を上に出した通常形。



「ク」は斜体だと「ク」に読めますが
「ワ」と似てくるので大きさに注意します。

「ン」を自然な抑揚の太さにした場合。



6. 書体造形および構成

「ラ」をよく観察してください。複雑な骨格・エレメントではないので考えやすいと思います。

ロゴタイプを書くときは、ラインを合わせてスッキリみせる工夫をすることがあります。全体の重心の高さにも注意しながら、ラインをそろえてみてください。拗音の「ィ」を除いて横ラインをそろえるとすっきりします。「ク」は単純にすると「ワ」と似てくるので注意が必要です。「ク」の形、濁点の表現を工夫してください。

ロゴタイプなので文字枠の大きさをそろえるのではなく、見た目を重視してください。



アドバイス

1. 字体の理解

間違い文字を探してください。画数が足りないとか「へん」や「つくり」が違っているなど念入りに見てください。

日頃から本に親しみ、文字を正確に書くことが大切です。

2. 部首、部分、エレメントの理解

和文、欧文の文字デザインの基礎知識である部首やエレメントの枠(わく)、ラインシステムの名称を答える問題です。

書体サンプル集に解説してあるので見ておいてください。これを知らないと文字デザインについてのコミュニケーションがとれません。

3. デザイン用語、用具、用法の理解および基本的な書体に関する知識

書体サンプル集の用語集と図版のページに載っている基本知識です。

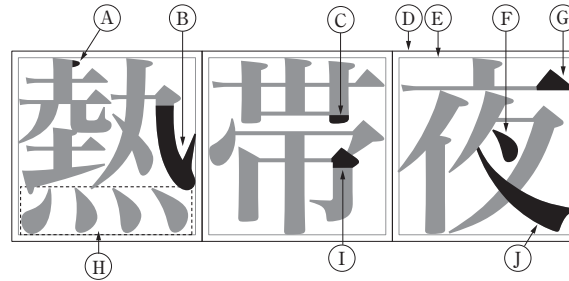
1 字体の理解

次のA~Eの文章の中に、誤字がそれぞれ2個ずつあります。右の解答欄の該当する箇所にその番号を記入してください。

- A. 経験や知識の蓄積によって生産性が上がる。
識 蓄
- B. 非難や批判を恐れずに大胆な改革を行った。
胆 革
- C. 家や職場で孤立するのは君の態度に理由がある。
孤 態
- D. 歴史をたどれば科学の進歩は一目瞭然だ。
学 然
- E. 弁護士は裁判の結果に遺憾を表した。
護 遺

2 部首、部分、エレメントの理解

a. 次の明朝体の黒塗り部分と破線の部首H、枠(わく)D・Eの名称を下の用語の中から選び、その番号を右の解答欄に記入してください。



1. 筆おさえ 2. つきだし 3. 字面(じづら) 4. あし(げた) 5. かどうろこ 6. よつてん
 7. 右そりはね 8. うろこ 9. 右はらい 10. 仮想ボディ 11. しんによろ 12. てん

b. 次の欧文の矢印で示した部分とラインなど(O~T)の名称を下の用語の中から選び、その番号を右の解答欄に記入してください。



1. ターミナル 2. ベースライン 3. エックスハイト 4. アセンダーライン
 5. ステム 6. キャップライン 7. セリフ 8. カウンター 9. キャップハイト
 10. オーバーシュート 11. ディセンダーライン 12. ミーンライン

3 デザイン用語、用具、用法の理解および基本的な書体に関する知識

次の1~10の文章の□にあてはまる最も適切な語句を()の中から選び、その記号を右の解答欄に記入してください。

1. □系の色は膨張して見える。(A.寒色 B.暖色 C.モノクローム)
2. かなは漢字より画数が少ないので□見える。(A.大きく B.小さく C.暗く)
3. 日本の変体仮名やひらがなは□から生まれた。(A.隷書 B.楷書 C.草書)
4. 約物の一つで、「…」のことを□とよぶ。(A.リーダー B.アポストロフィ C.コロン)
5. 和文書体で、文字の内側のすべての空間のことを□という。(A.ボリューム B.ふところ C.スペーシング)
6. 欧文書体の字形を変えずに斜体にしたものを□という。(A.コンデンス B.シャドウ C.オブリーク)
7. □は、人物の顔や表情を描くときに用いられたことに由来して名づけられた。(A.顔彩 B.タイプフェイス C.面相筆)
8. 一般に用いられてはいるが、正式な文書では用いられない文字を□という。(A.常字 B.俗字 C.凡字)
9. □は勘亭流と提灯文字をもとに作られた書体である。(A.アンチック体 B.寄席文字 C.御家流)
10. デザインのアイデアを伝えるために□を作成した。(A.ラフスケッチ B.カリグラフィー C.割付)

解答欄

1 アルファベット枠内順不同

A	4
	5
B	7
	9
C	4
	7
D	4
	10
E	2
	8

2

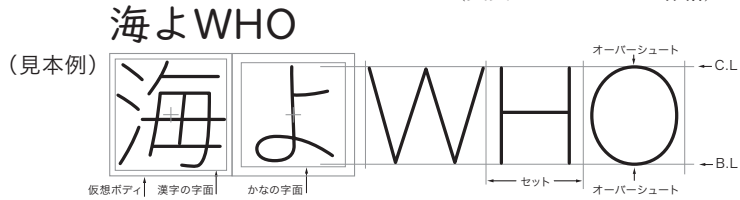
A	2	K	10
B	7	L	8
C	4	M	5
D	10	N	7
E	3	O	4
F	12	P	6
G	8	Q	12
H	6	R	9
I	5	S	2
J	9	T	11

3

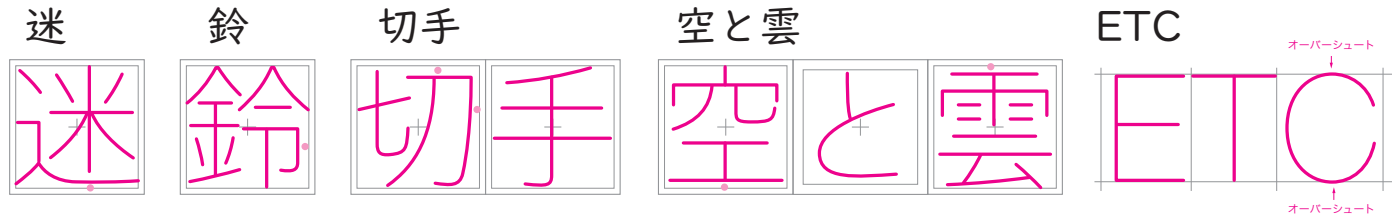
1	B
2	A
3	C
4	A
5	B
6	C
7	C
8	B
9	B
10	A

4 フリーハンドによる字体表現

a. 下に示した文字を、見本例のように基本書体のゴシック体の骨格で書いてください。
(英文はヘルベチカの骨格)



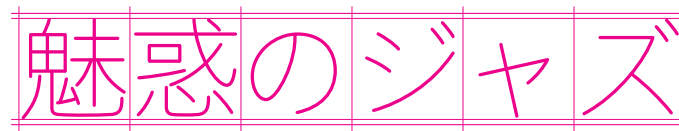
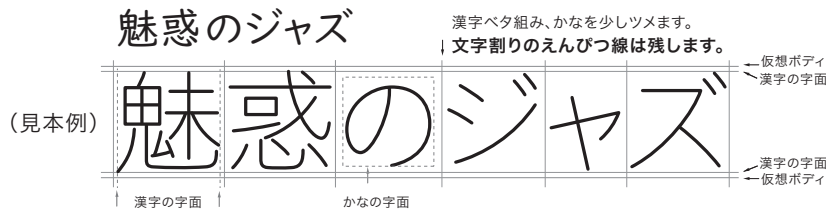
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の黒の筆記具を使用。
- フリーハンドが基本だが定規の使用は自由。
- 文字の下書きは、必ず消しておくこと。
- 修整は自由。



b. 下に示した文を、見本例のように基本書体のゴシック体の骨格で書いてください。
見出し用として、漢字同士はベタ組み、かなを少しツメてスペーシングしてください。
※文字割り線は、鉛筆で書いて消さないで残してください。

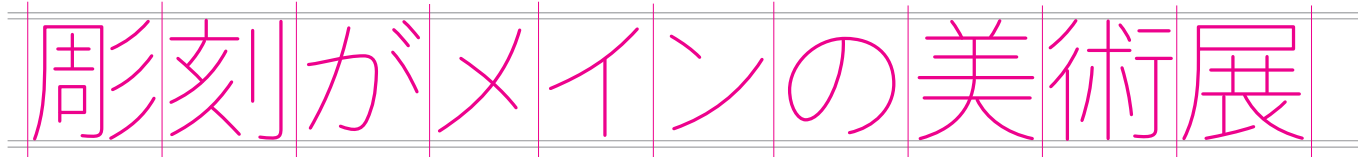
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の黒の筆記具を使用。
- フリーハンドが基本だが定規の使用は自由。
- 文字割りの線は鉛筆で書き、消さずに残しておくこと
- 文字の下書きは必ず消しておくこと。
- 修整は自由。

ベタ組みの場合。



彫刻がメインの美術展

ボディと漢字字面基準枠の天地ラインに文字割りをして書く。
文字割りの線は残してあること!



4a.フリーハンドによる字体表現
基本書体の骨格は筆記体(楷書体)と異なり、形が変わったり、水平垂直が整理されたり、横線の長さが変化したりします。右上がりの筆記体にならないようにします。

4b.それぞれの文字は正体(正方形枠)で描いていきますが、漢字はツメないでベタ組みで割り付けています。かなはやや小さめの枠で、スペーシングを考えながら文字の割り付けをしてください。ボディ枠、字面(じづら)枠をしっかり区別、意識してください。文字割もせずに描かれた答案が見受けられたので今回は鉛筆で書かれた文字割りを消さずに残す出題に変更しました。
文字の下書きは、紙を傷めないように、B-2Bの鉛筆で、うすく、ていねいに描きましょう。文字を間違えずバランスよく書くことを心がけてください。字面枠に接するか、離れるかをよく観察し、意識してください。
ミリペンなどで仕上げた後、完全に乾いてから消しゴムで下書きを消さないと汚れるおそれがあるので注意してください。

5 和文基本書体表現

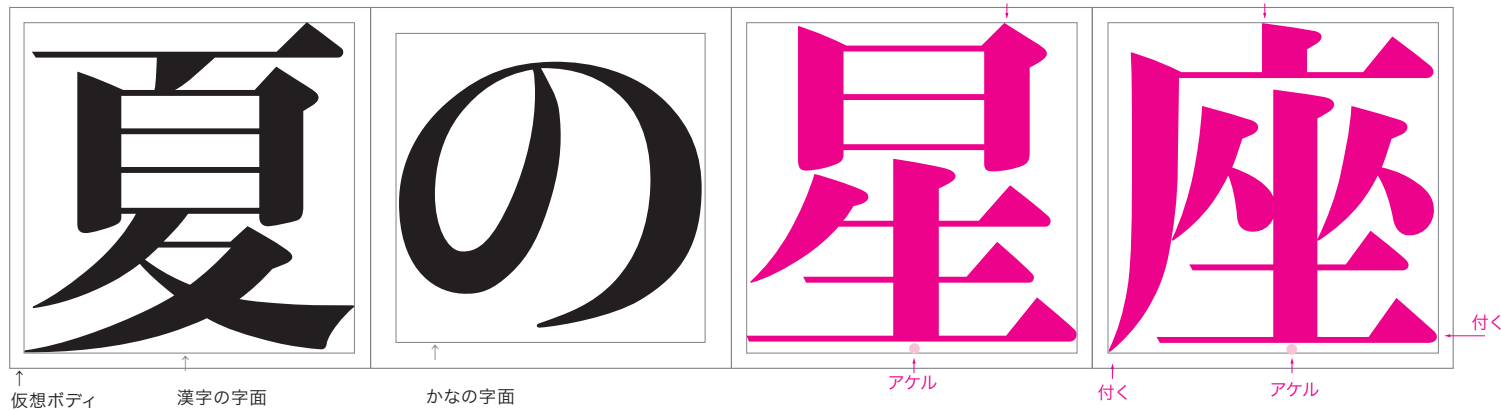
下の枠(わく)の中に「夏の星座」の4文字のうち、「星座」の2文字を、「夏の」に合わせた明朝体で書いてください。

枠は仮想ボディと字面(じづら)で、ベタ組みです。

- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 塗り残しのないように、はっきりと仕上げること。
- 用具・用材の使用は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。
- 修整は自由。

夏の星座

下書きの線は仕上げ後に消すこと。



5.和文基本書体表現

太明朝体太です。明朝体だからみな同じというわけではありません。バランスや縦、横線の太さ、はらいの勢い、点、うろこなどのエレメントがそれぞれにシャープだったりソフトだったりして、固有の特徴を持っています。刷りこまれている「夏の」の明朝体の特徴をよく観察してください。

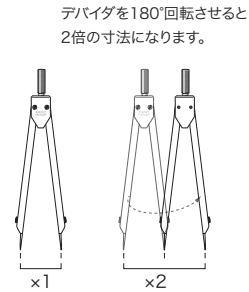
6 欧文基本書体の拡大視写

右の手本「Ff」を、下のラインの中に拡大視写してください。

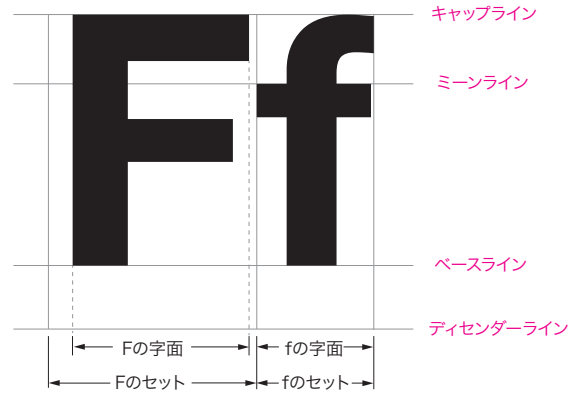
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 用具・用材の使用は自由。電卓の使用は禁止。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。
- 修整は自由。

★ 次のヒントを参考にしてください。

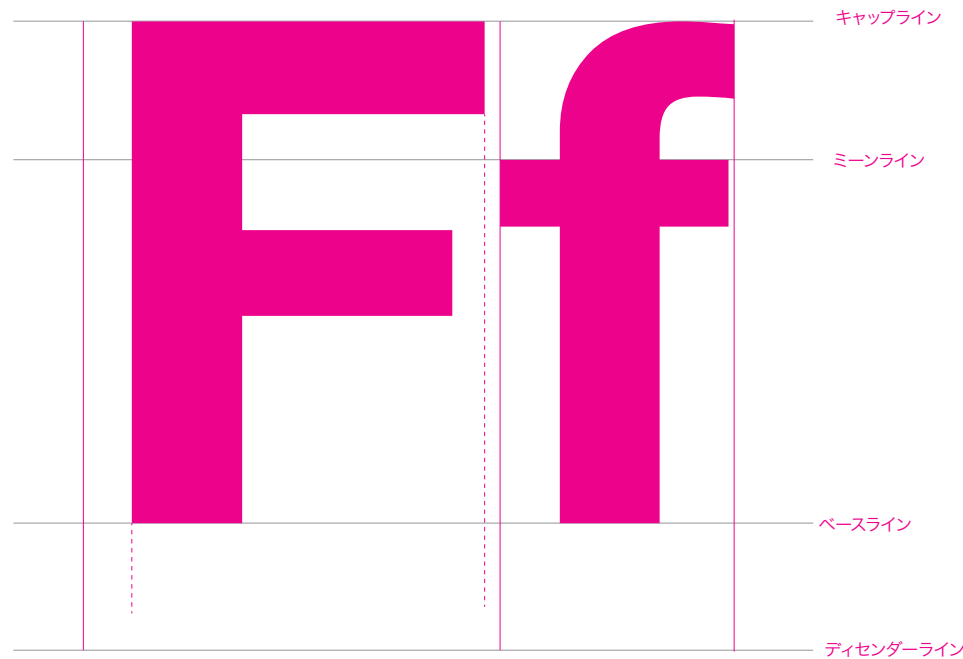
- ① はじめは、ライン上におおまかに鉛筆デッサンしてみましょう。
- ② 手本の2倍の拡大視写なのでデバイダ(コンパスでも代用できます)で2倍寸にして、位置、幅、太さを確認すればこまかいマス目の分割は不要です。
- ③ 直線、水平線、垂直線、平行線は必ず三角定規を使いましょう。



書体名: Helvetica Bold



下書きの線は仕上げ後に消すこと。



6.欧文基本書体の拡大視写

書体はヘルベチカ・ボールドです。Fのたて線と横線の位置、太さの違いをよく観察してください。ラインシステムを間違えないようにし、大まかに書いて、デバイダ2倍寸でしっかり確認してください。

※ 欧文のセット幅(set)

欧文文字の横幅のことです。和文文字では同じサイズの正方形を基準にしてその内側に設計しますが、欧文のプロポーショナルフォントは文字によって文字幅を変えて設計され、このセット幅は文字間の調整の役割をします。セット幅より字面がでる文字もあります。

1 字体の理解

次のA~Jの語句に誤字が一つずつあります。その番号を右の解答欄に記入してください。

- | | |
|---|---|
| A. ツナリオ ^① ² ³ ⁴ シ | F. 自己暗示 ¹ ^② ³ ⁴ 己 |
| B. 一日千里 ¹ ² ^③ ⁴ 千 | G. 人気絶頂 ¹ ² ³ ^④ 頂 |
| C. 我田引水 ¹ ² ³ ^④ 水 | H. 学校給食 ^① ² ³ ⁴ 学 |
| D. 玉石混交 ¹ ^② ³ ⁴ 石 | I. 快刃乱麻 ¹ ^② ³ ⁴ 刀 |
| E. 派遣社員 ¹ ^② ³ ⁴ 遣 | J. 天涯狐独 ¹ ² ^③ ⁴ 孤 |

3 基礎知識および用具、用材、用法の理解

次の1~10の文章の□にあてはまる最も適切な語句を()の中から選び、その記号を右の解答欄に記入してください。

- 和文書体は□とよばれる正方形の枠内にデザインされている。(A) 仮想ボディ (B) 正体)
- 教科書体は、学年別の□にしたがって定められた書体である。(A) 漢字配当表 (B) 常用漢字表)
- の光を混色すると、重ねれば重ねるほど明るさを増していく。(A) CMYK (B) RGB)
- ロゴタイプの文字と文字の間隔を調整するため□を行った。(A) スペーシング (B) トレース)
- 約物の一つで、丸いかっこで区切る記号を□とよぶ。(A) パーレン (B) アポストロフィ)
- 無断の転載を防ぐには、作品の説明文に□を入れるとよい。(A) JISマーク (B) コピーライト)
- スラッシュ記号は□の意味を省略して表すことができる。(A) and (B) but)
- 赤、青、黄といった色みの違いは、□によって区別される。(A) 色相 (B) グラデーション)
- はキャップラインよりやや上の位置に設定される。(A) オーバーシュート (B) アセンダーライン)
- 一定の細い線を描くため、□を用いて製図を行った。(A) 丸筆 (B) カラス口)

2 書体の理解

次の1~10の各書体で、基本書体の明朝体とゴシック体(丸ゴシック体も含む)には○印を、その他の書体には×印を右の解答欄に記入してください。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| ○ 1. 家庭の味 <small>丸ゴシック</small> | ○ 6. 週末の夜 <small>細明朝</small> |
| × 2. 北国の春 <small>行書</small> | × 7. 夢の舞台 <small>勘亭流</small> |
| ○ 3. 幻の財宝 <small>太明朝</small> | ○ 8. 手の消毒 <small>丸ゴシック</small> |
| ○ 4. 季節の風 <small>細ゴシック</small> | × 9. 民の英雄 <small>隷書</small> |
| × 5. 水の温度 <small>宋朝</small> | ○ 10. 事件の鍵 <small>太ゴシック</small> |

解答欄

1	A	1
	B	3
	C	4
	D	2
	E	2
	F	2
	G	4
	H	1
	I	2
	J	3

2	1	○
	2	×
	3	○
	4	○
	5	×
	6	○
	7	×
	8	○
	9	×
	10	○

3	1	A
	2	A
	3	B
	4	A
	5	A
	6	B
	7	A
	8	A
	9	B
	10	B



1. 字体の理解

この問題は文字を書く時に注意する漢字の骨格の間違いを探す問題です。見たところ似ていますが、よく見るとおかしな箇所があります。

日頃から本に親しみ、文字を正確に書くことが大切です。

2. 書体の理解

レタリング検定で基本書体と定めている明朝体とゴシック体(丸ゴシック体も含む)を探す問題です。ウエイト(太さ)のバリエーションが何種類もあります。

○印だけでなく×印を忘れずに記入しないと減点になります。

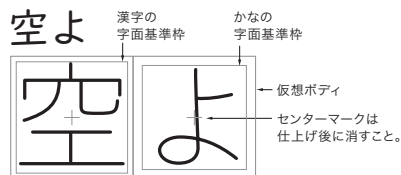
3. 基礎知識および用具、用材、用法の理解

文字デザインに関する一般常識からの出題です。書体サンプル集の用語集に必ず目を通しておきましょう。

4 フリーハンドによる字体視写

下に示したA、B、Cを、それぞれの枠(わく)の中に、フリーハンドで、見本例のように基本書体(ゴシック体)の骨格で、拡大視写してください。

- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の黒の筆記具を使用。
- フリーハンドが基本だが正規の使用は自由。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。
- 修整は自由。

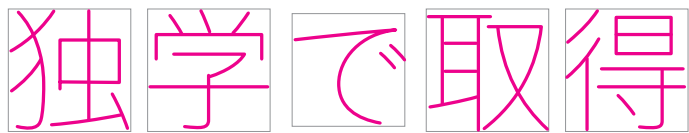


- ★ 枠(わく)は漢字、かなのそれぞれの字面基準枠です。仮想ボディは消してあります。

(見本例)

独学で取得

A 独学で取得 ベタ組み。



ピアノで奏でる快い旋律

B ピアノで奏でる快い旋律 漢字はベタ組み、かなを少しツメたスペーシング。



関心が高まる防災グッズ

C 関心が高まる防災グッズ 漢字はベタ組み、かなを少しツメたスペーシング。



4. フリーハンドによる字体視写

普段書いている楷書体が基本書体では形が変わり、横線の長さが変化したり、はねがはねなかったりと違う骨格になるものがあります。

どのように変わるか確認しながら作業を進めてください。

下書きは、紙を傷めないように、やわらかなB-2Bの鉛筆で、うすくていねいに書きましょう。

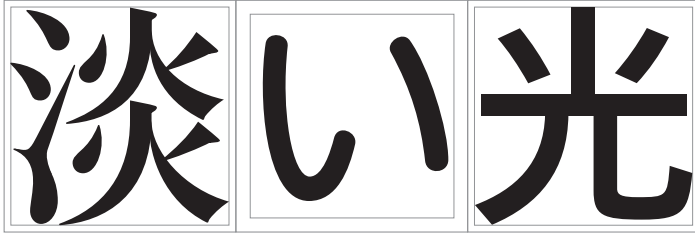
墨書さが完全に乾いてから下書きを消してください。

枠(わく)に接している、離れているをよく観察してください。ここに書かれてる枠を字面(じづら)基準枠といいます。漢字とかなでは基準枠の大きさが違います。

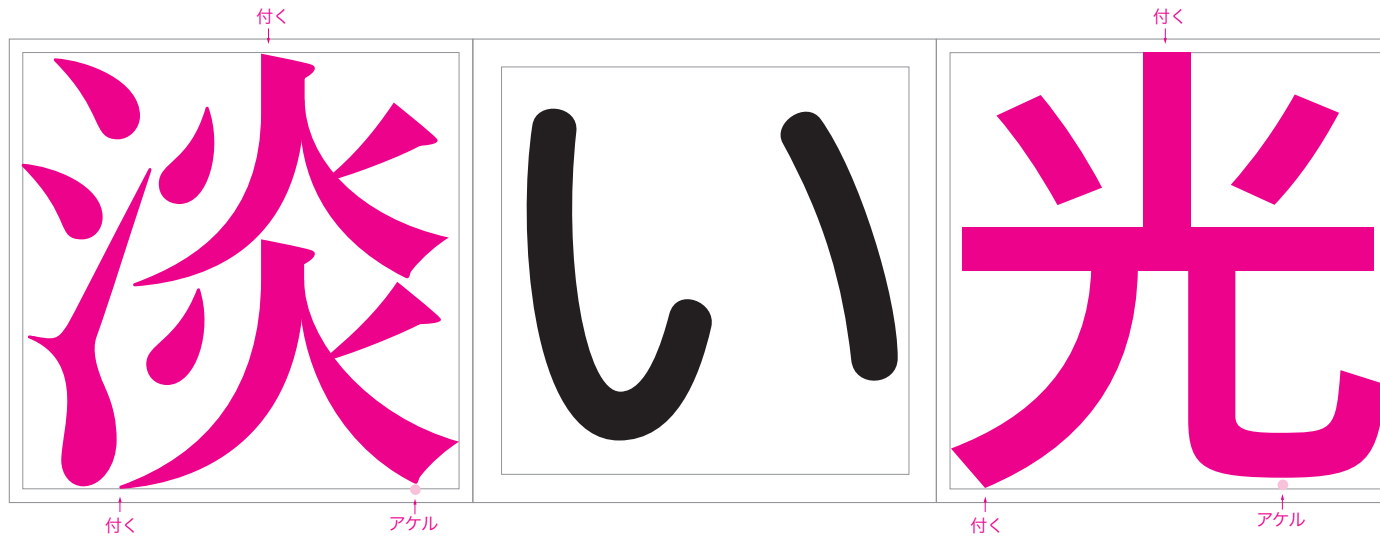
漢字は基本的にベタ組みで、かなは少しツメています。漢字とかなの字面枠の離れ方でスペーシングの方法がわかるでしょうか？

5 和文基本書体の拡大視写

次の明朝体、ゴシック体の2文字「淡、光」を下の枠(わく)の中に拡大視写してください。



- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 塗り残しのないように、はっきりと仕上げること。
- 用具・用材の使用は自由。電卓の使用は禁止。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。
- 修整は自由。



5.和文基本書体の拡大視写

明朝体とゴシック体はいつも目に見える和文の基本書体です。この問題ではデッサン力とエレメントの仕上げ力が問われます。デッサンするとき設定されているわく(字面基準枠)に接してるか、どのくらい離れているかをよく観察してください。

骨格はもちろんですが、明朝体はうろこや、点などのエレメントをしっかり描かないと、だらしない文字になってしまいます。

ゴシック体は横線よりたて線を少し太くして錯視調整し、軽快にみせています。外側と内側の線の太さの差もよく観察して視写してください。

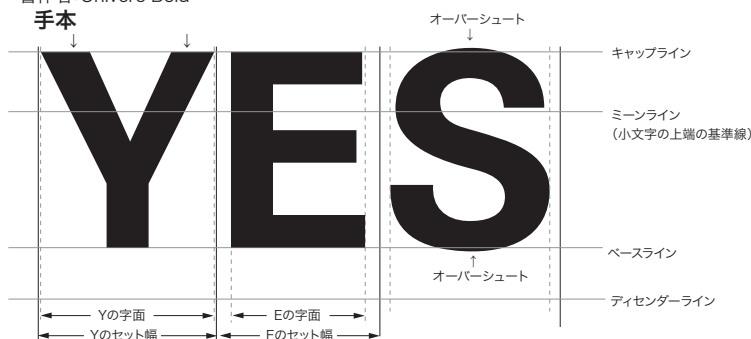
軽く枠の中を分割して描いてもよいですが、あまり細かく分割するとデッサン力がつきません。センターの+マークだけで書き進める方が全体のバランスもとりにやすいしデッサン力もつきます。

6 欧文基本書体の拡大視写

下の手本YESの「Y」を、右下のラインの中に拡大視写してください。

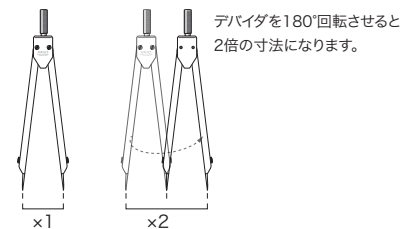
- 仕上げは鉛筆・ボールペン以外の用筆・用材で黒色とする。
- 塗り残しのないように、はっきりと仕上げること。
- 用具・用材の使用は自由。電卓の使用は禁止。
- 鉛筆の下書きは、必ず消しておくこと。
- 修整は自由。

書体名:Univers Bold
手本



★ 次のヒントを参考にしてください。

- ① はじめは、ライン上におおまかに鉛筆デッサンしてみましょう。
- ② Yの左右の斜め線は、太さに差があります。
- ③ スペーシングにも注意してください。
- ④ 直線、水平線、垂直線、平行線は必ず三角定規を使いましょう。
- ⑤ 手本の2倍の拡大視写なのでデバイダ(コンパスでも代用できます)で2倍寸にして、位置、幅、太さを確認すればこまかいマス目の分割は不要です。



6. 欧文基本書体の拡大視写

デバイダや三角定規の送りをうまく使いこなし、分割や線の延長がどこにしているかを作図で割り出してみましょう。デバイダを使えば2倍寸なのでわかりやすいですね。

各ラインの延長はどこに向かっているか、どこを通るか、どこで交差するかを観察してください。Yのたて棒から左右上に伸びる斜め線は根元と先端では太さが違います。また左右の斜め線は左側が太いです。YEのアキ(スペーシング)も注意してください。

それぞれの位置、太さをデバイダで確認してください。マス目分割する割出線はおすすめしません。

※ 欧文のセット幅(set)

欧文文字の横幅のことです。和文文字では同じサイズの正方形を基準にしてその内側に設計しますが、欧文のプロポーショナルフォントは文字によって文字幅を変えて設計され、このセット幅は文字間の調整の役割をします。セット幅より字面がでる文字もあります。